

## 再 評 価 調 書

I 事業概要						
事業名	街路事業					
地区名	都市計画道路 <small>たけとよこう</small> 武豊港線					
事業箇所	知多郡武豊町字 <small>どうさき</small> 道崎～字 <small>ながおやま</small> 長尾山					
事業のあらまし	<p>都市計画道路武豊港線は、武豊町を南北に通る都市計画道路 <small>ろっかんやま</small> 六貫山線から武豊町の中心市街地を経て、都市計画道路 <small>きぬうらせいぶ</small> 衣浦西部線に至る地区幹線道路であり、国道 247 号などに接続する武豊町の東西道路軸を形成する重要な道路である。</p> <p>また、愛知県地域防災計画において、第 2 次緊急輸送道路として指定されており、防災上も重要な路線である。</p> <p>当該事業区間は、武豊町の中心拠点へのアクセス道路としての機能が求められているが、名鉄 <small>こうわ</small> 河和線踏切部が一方通行の変則交差点になっていることから、円滑な交通機能が確保されていない。また、名鉄知多武豊駅及び JR 武豊駅へのアクセス道路であり、通勤・通学の利用者が多いにもかかわらず、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全が確保されていない。さらには、当該事業区間の南側において、武豊町施行による土地区画整理事業が展開されており、交通量の増加が見込まれている。</p> <p>このため、「中心拠点へのアクセス機能の強化」「歩行者・自転車の安全性向上」「緊急輸送道路の強化」を主な目的として、本路線の現道拡幅及び電線共同溝による無電柱化を実施するものである。</p>					
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>①地域の活性化（中心拠点へのアクセス機能の強化）                  ②交通事故対策の推進（歩行者・自転車の安全性向上）                  ③地震・津波対策の推進（緊急輸送道路の強化）</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>					
計画変更の推移		事前評価時 (2012 年度)	再評価時 (1 回目) (2018 年度)	再評価時 (2 回目) (2023 年度)	変動要因の分析	
	事業期間	2013～2019	2013～2022	2013～2027	用地交渉の難航 電線共同溝の新規計上	
	事業費（億円）	8.6 億円	8.0 億円	12.2 億円		
	経費内訳	工事費	3.1 億円	3.3 億円	7.5 億円	緊急輸送道路としての機能を確保するため、愛知県無電柱化推進計画（第 8 期）に新たに位置付け、電線共同溝を新規計上した。（+4.2 億円）
		用地補償費	5.0 億円	4.4 億円	4.4 億円	—
その他		0.5 億円	0.3 億円	0.3 億円	—	
事業内容	現道拡幅整備 L=240m W=16～17m 2 車線	現道拡幅整備 L=240m W=16～17m 2 車線	現道拡幅整備 L=240m W=16～17m 2 車線	現道拡幅整備 L=240m W=16～17m 2 車線		

II 評価	
①事業の必要性の変化	<p>1) 必要性の変化</p> <p><b>【事前評価時の状況】</b></p> <p>①中心拠点へのアクセス機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>武豊町の中心拠点へのアクセス道路となるが、名鉄河和線踏切部が一方通行の変則交差点となっており、円滑な交通機能が確保されていない。また、交通量は8,550台/日(2010年センサスペース)、旅行速度は22.0km/h(2010年センサスペース)となっている。</li> </ul> <p>②交通安全対策の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>当該事業区間の南側では武豊町施行の土地区画整理事業が行われ、街づくりが進められているが、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全確保が求められている。</li> </ul> <p>③緊急輸送道路の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県地域防災計画において第二次緊急輸送道路に指定されているが、歩道もなく家屋が近接しており、災害時には沿道家屋の倒壊により、緊急輸送道路として機能しない恐れがある。</li> </ul> <p><b>【再評価時(1回目)の状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H27センサスペースでは交通量は8,266台/日、旅行速度は20.1km/hとなっている。</li> </ul> <p><b>【再評価時(2回目)の状況】</b></p> <p>①中心拠点へのアクセス機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>R3センサスでは交通量は7,255台/日、旅行速度は15.6km/hとなっている。</li> <li>武豊町の中心拠点へのアクセス道路となっているものの、名鉄河和線踏切部は一方通行の変則交差点となっており、円滑な交通機能が確保されていないことから、事業の必要性は変わらない。</li> <li>当該事業区間の南側において、武豊町施行による土地区画整理事業が展開されており、交通量の増加が見込まれている。</li> </ul> <p>②歩行者・自転車の安全性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>名鉄知多武豊駅及びJR武豊駅へのアクセス道路であり、通勤・通学の利用者が多いにもかかわらず、歩道が未整備であり、歩行者や自転車等の安全確保が求められていることから、事業の必要性は変わらない。</li> </ul> <p>③緊急輸送道路の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>愛知県地域防災計画において第2次緊急輸送道路に指定されているが、歩道もなく家屋が近接しており、災害時に沿道の家屋や電柱が倒壊し、車道を塞いで緊急輸送道路として機能しない恐れがある。このことから、緊急輸送道路としての機能確保のため、無電柱化を含めた道路整備が求められており、事業の必要性は変わらない。</li> </ul> <p><b>【変動要因の分析】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>H22センサスに比べ、R3センサスでは交通量は減少(1,295台/日減少)しているが、コロナ禍による一時的な減少と推測される。今後、土地区画整理事業の概成に伴い交通量の増加も見込まれることから、事業着手時と同様に当該事業区間の整備が求められている。</li> </ul>
	<p>判定</p> <p><b>B</b></p> <p>A: 事業着手時に比べ必要性が増大している。  B: 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。  C: 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。</p> <p><b>【理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「中心拠点へのアクセス機能の強化」、「歩行者・自転車の安全性向上」及び「緊急輸送道路の強化」の観点から、事業の必要性は依然として高いため。</li> </ul>

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p><b>【事業計画及び実績】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2013</th><th>2014</th><th>2015</th><th>2016</th><th>2017</th><th>2018</th><th>2019</th><th>2020</th><th>2021</th><th>2022</th><th>2023</th><th>2024</th><th>2025</th><th>2026</th><th>2027</th><th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">工種 区分</td> <td>調査・設計</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費 (億円)</td> <td>前回計画</td> <td></td><td></td><td>2.7億円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>5.3億円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8.0億円</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td><td></td><td>2.7億円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3.4億円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>6.1億円</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td></td><td></td><td>2.7億円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>3.4億円</td><td></td><td></td><td></td><td>6.1億円</td><td></td><td></td><td></td><td>12.2億円</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【進捗率】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗率</th> </tr> <tr> <th>計画 【①】</th> <th>実績 【②】</th> <th>達成率(%) 【②÷①】</th> <th>計画 【③】</th> <th>達成率(%) 【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.23</td> <td>0.00</td> <td>0%</td> <td>0.23</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>8.0億円</td> <td>6.1億円</td> <td>76%</td> <td>12.2億円</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>  工事費</td> <td>3.3億円</td> <td>0.0億円</td> <td>0%</td> <td>7.5億円</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>  用地補償費</td> <td>4.4億円</td> <td>3.8億円</td> <td>86%</td> <td>4.4億円</td> <td>86%</td> </tr> <tr> <td>  その他</td> <td>0.3億円</td> <td>0.2億円</td> <td>67%</td> <td>0.3億円</td> <td>67%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※用地取得率（面積ベース）は約92%</p> <p><b>【施工済みの内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用済み区間はなし。</li> </ul>			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計	工種 区分	調査・設計																	用地補償																	工事																	事業費 (億円)	前回計画			2.7億円					5.3億円								8.0億円	実績			2.7億円					3.4億円								6.1億円	今回計画			2.7億円					3.4億円				6.1億円				12.2億円		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】	延長(km)	0.23	0.00	0%	0.23	0%	事業費(億円)	8.0億円	6.1億円	76%	12.2億円	50%	工事費	3.3億円	0.0億円	0%	7.5億円	0%	用地補償費	4.4億円	3.8億円	86%	4.4億円	86%	その他	0.3億円	0.2億円	67%	0.3億円	67%
			2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	合計																																																																																																																																																			
	工種 区分	調査・設計																																																																																																																																																																			
		用地補償																																																																																																																																																																			
		工事																																																																																																																																																																			
	事業費 (億円)	前回計画			2.7億円					5.3億円								8.0億円																																																																																																																																																			
		実績			2.7億円					3.4億円								6.1億円																																																																																																																																																			
		今回計画			2.7億円					3.4億円				6.1億円				12.2億円																																																																																																																																																			
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗率																																																																																																																																																																
		計画 【①】	実績 【②】	達成率(%) 【②÷①】	計画 【③】	達成率(%) 【②÷③】																																																																																																																																																															
延長(km)	0.23	0.00	0%	0.23	0%																																																																																																																																																																
事業費(億円)	8.0億円	6.1億円	76%	12.2億円	50%																																																																																																																																																																
工事費	3.3億円	0.0億円	0%	7.5億円	0%																																																																																																																																																																
用地補償費	4.4億円	3.8億円	86%	4.4億円	86%																																																																																																																																																																
その他	0.3億円	0.2億円	67%	0.3億円	67%																																																																																																																																																																
2) 未着手又は長期化の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土地区画整理事業にて用地の確保を行っているが、土地区画整理事業の遅延により、当該事業の完了予定が3か年遅れた。</li> <li>・愛知県無電柱化推進計画に基づき、2022年に電線共同溝整備を新たに実施することとなり、その期間に2か年を要するため。</li> </ul>																																																																																																																																																																				
3) 今後の事業進捗の見込み	<p><b>【阻害要因】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地が確保できる見通しであり、大きな阻害要因はない。</li> </ul> <p><b>【今後の見込み】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地補償は面積ベースで約92%の進捗状況となっている。今後、土地区画整理事業により用地が確保できる見込みであり、2027年度に完了する予定である。</li> </ul>																																																																																																																																																																				
判定	<p><b>B</b></p> <p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。  B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>○これまで事業が長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> <li>・これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。</li> </ul> <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p>																																																																																																																																																																				
	<p><b>【理由】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地が確保できる見通しであり、2027年度までに事業が完了する予定である。</li> </ul>																																																																																																																																																																				
III 対応方針																																																																																																																																																																					
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。  継続：上記以外のもの。</p>																																																																																																																																																																				

#### IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

—

【主な評価内容】

・交通量（全車、大型車）、旅行速度、混雑度、防災上の支障となる要素（電柱、電線等）の解消状況